

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587062901	科目番号 / Course code	05870629
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15651_005		
授業科目名 / Course title	b8異文化比較：日本と欧米文化 / Cultural Exchange: Japanese and Western Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri, 古村 由美子 / Yumiko Furumura, 奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri, 奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大橋絵理 B105 奥田阿子 B101		
担当教員TEL/Tel	大橋絵理 095-819-2086 奥田阿子 095-819-2380		
担当教員オフィスアワー/Office hours	大橋絵理 火曜日 13:00 ~ 15:00 水曜日 15:00 ~ 17:00 奥田阿子 まずはメールにてアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前半1~4週の授業では、温泉保養地とそこから生まれた文化、社交について、ヨーロッパと日本の相違を、グループ別に検討し、発表し、クラス全体で討論する。共通のテーマを、映画や小説という身近なメディアを通して比較することで、自分と異なった文化や社会を理解し、多様性の意義について考える。 後半の5~8週の授業では、国際結婚というテーマを通して日本と諸外国の結婚に対する歴史や現状について共通点や相違点を比較検討する。調査、考察、発表を通して、国際結婚の意義と課題について主体的に考え、多様性への理解を深めることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	自主的な探求心を持ち、プレゼンテーションをとおして自己表現ができるようになる。海外の社会や文化と比較することによって、世界の多様性を理解できるようになる。グループやクラス全体で討論することによって、批判的思考を身につけ、広い視野を持つことができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	1~4週 : プレゼンテーション 15%、 ディベート 15%、 レポート 20% 5~8週 : プレゼンテーション 15%、 ディベート 15%、 レポート 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、事前に指定されたテキストを読んだり、映像を見る。7時間 事後学習としては、授業中の討論を通して自分の考えをまとめる。8時間		
キーワード / Keywords	温泉保養地、小説、映画、日本、ヨーロッパ、国際結婚、文化		
教科書・教材・参考書 / Materials	1~4週 : プリントを配布する 5~8週 : プリントを配布する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	1) 教員からの指示、プレゼンテーションやレポート提出は必ず行うこと 2) ディベートでは積極的に参加し、必ず発言すること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんの興味が持て、何らかの形で思考面で将来に役立つような授業をしたいと思っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月8日 3限	温泉と神話を知る - 『千と千尋の神隠し』（映画）（1） 1）温泉と神話についての講義 2）日本の神話についてグループで発表する
第2回 4月8日 4限	温泉と神話を知る - 映画 『千と千尋の神隠し』（2） 3）映画を見て自分の感想をまとめる 4）各グループに分かれて討論する
第3回 4月15日 3限	温泉と神話を知る - 『千と千尋の神隠し』（映画）（3） 5）各グループの討論結果を発表する 6）グループごとの意見の交換をする
第4回 4月15日 4限	温泉と神話を知る - 『千と千尋の神隠し』（映画）（4） 7）授業をふまえて自分の考えをレポートとして提出する（授業内） 8）グループで書かれていない物語の先を考えて発表する（授業内）
第5回 4月22日 3限	イタリアの温泉保養地と貴族 - 『黒い瞳』（小説と映画）（1） 1）ヨーロッパの歴史と文化を知る 2）小説と映画をとおしての温泉と貴族社会についての講義
第6回 4月22日 4限	イタリアの温泉保養地と恋愛 - 『黒い瞳』（小説と映画）（2） 3）映画を見て自分の感想をまとめる 4）各グループに分かれて討論する
第7回 5月13日 3限	イタリアの温泉保養地と恋愛 - 『黒い瞳』（小説と映画）（3） 5）各グループの討論結果を発表する 6）グループごとの意見の交換をする
第8回 5月13日 4限	イタリアの温泉保養地と恋愛 - 『黒い瞳』（小説と映画）（4） 7）授業をふまえて自分の考えをレポートとして提出する（授業内） 8）グループで書かれていない物語の先を考えて発表する（授業内）
第9回 5月20日 3限	授業の概要の説明 1）国際結婚をテーマとし、アクティブラーニング型の授業を実施することを説明する。 2）「日本の結婚制度の成立」、「欧米のキリスト教社会の結婚」、「中東、アフリカのイスラム教社会の結婚」、「アジア各国の結婚（韓国、中国、東南アジア）」の歴史と現状について情報を提供する。
第10回 5月20日 4限	テーマとゴールを設定 1）「全体のテーマ」国際社会と結婚について考察する。 2）「全体のゴール」多様性社会における国際結婚のあり方 3）関心がある者どうしでのチーム作り（1チーム3~4人）
第11回 5月27日 3限	発表準備(1) 1）各チームで国際結婚についてのテーマを考える（結婚、離婚、養育権、一夫多妻、宗教、恋愛など） 2）インターネット、書籍、新聞、映画等から各自で集めた情報、あるいは外国人にインタビューした結果をチームで共有する。 3）情報の取捨選択・分析をする。
第12回 5月27日 4限	発表準備(2) 1）インターネット、書籍、新聞、映画等から各自で集めた情報、あるいは外国人にインタビューした結果をチームで共有する。 2）情報の取捨選択・分析をする。

第13回 6月3日 3限	<p>プレゼンテーション(1)</p> <p>1) プレゼンテーションをして質疑応答をする。</p> <p>2) それらを学生相互で採点する。</p>
第14回 6月3日 4限	<p>プレゼンテーション(2)</p> <p>1) プレゼンテーションをして質疑応答をする。</p> <p>2) それらを学生相互で採点する。</p>
第15回 6月10日 3限	<p>ディベート(1)</p> <p>1) プレゼンテーションで扱われた内容をもとにディベートを行う。</p>
第16回 6月10日 4限	<p>ディベート(2)</p> <p>1) プレゼンテーションで扱われた内容をもとにディベートを行う。</p> <p>まとめ</p>

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587063101	科目番号 / Course code	05870631
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15661_005		
授業科目名 / Course title	b8長崎における異文化交流COC / Intercultural Communication in Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	小笠原真司: ogasa-s nagasaki-u.ac.jp 古村由美子: furumura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	小笠原真司: 言語教育研究センター 1階 古村由美子: 共用校舎 2 1階(総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel	小笠原真司: 095-819-2094 古村由美子: 095-819-2945		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	1. 3限の授業では、幕末から明治期に活躍した長崎にゆかりのある人物に焦点を当て、その業績を学ぶ。また、同時期に活躍したものの歴史上あまり知られていない人物(必ずしも長崎に限定しない)を文献等により調査を行い、その内容をプレゼンしてもらう。 2. 4限の授業では、現代へと視点を移し、現在長崎でどのように国際交流が実践されているかを調査し、その問題点を考察し、新たな取り組みについて学生が自ら考えて提案します。グループプレゼンテーションにて自分達の考えを発表し、クラス全体で議論します。		
授業到達目標/Course goals	自分の関心ある人物について文献や資料を用いて調査できるようになる。国際交流について調査することができるようになる。問題点について考察できるようになる。プレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小笠原(50%) : 1. 定期試験(20%) 2. プレゼン(他人の発表を聞く視点の評価も入ります)(20%) 3. プレゼン以外の授業時の活動(10%) 古村(50%) : 1. レポート(10%) 2. 授業時の活動とディスカッションの参加(20%) 3. プレゼンテーション(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	指定されたテキストを読んできて授業に臨む。プレゼン対象の人物を決め、計画的に調査をしてプレゼンの用意をする。国際交流団体について事前に調査し、関係者にインタビューする活動が含まれます(事前学習2h、事後学習2h)。		
キーワード / Keywords	異文化交流、幕末、明治、近代化、医学、工学、国際交流、地域政策、問題解決、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	3限: 『龍馬と海国日本を夢見た男たち』(英光社) 4限: 授業中に配布する		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	1. (小笠原) 指定テキストを必ず読んで授業に出席すること。欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点。 2. (古村) : 宿題の指示があった場合は、必ず行なうこと。欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学外での活動が含まれるため、授業外で活動する時間を確保する必要があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1. 9/29 3rd	オリエンテーション(小笠原担当分)
2. 9/29 3rd	オリエンテーション(古村担当分)・グループを決める
3. 10/6 3rd	自然科学教育の先覚者
4. 10/6 4th	長崎市の国際交流団体と国際ボランティアについて調べる
5. 10/13 3rd	長崎海軍伝習所の近代化への役割
6. 10/13 4th	長崎市の国際交流団体、または国際ボランティア当事者へするインタビューの計画立案
7. 10/20 3rd	近代医学教育の発展
8. 10/20 4th	長崎市の国際交流団体、または国際ボランティア当事者へのインタビュー結果のまとめ
9. 10/27 3rd	近代工業の導入と造船所
10. 10/27 4th	インタビューと調査を行ってわかったこと: よい点と改善した方がよい点について考察
11. 11/10 3rd	幕末明治に活躍した人々
12. 11/10 4th	長崎市からの情報発信方法についての検証
13. 11/17 3rd	プレゼンテーション1
14. 11/17 4th	プレゼンテーション準備
15. 11/24 3rd	プレゼンテーション2
16. 11/24 4th	プレゼンテーションとディスカッション

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587508701	科目番号 / Course code	05875087
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15741_005		
授業科目名 / Course title	b8異文化理解の実際 / Understanding of Different Cultures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe, 古村 由美子 / Yumiko Furumura, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (廣江) mkumagami nagasaki-u.ac.jp (隈上) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員へメールにて連絡をし、アポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	異文化理解をするうえで、「衣」「食」といった自分にとって身近な話題から「宗教」や「政治」などの話題まで様々な方向から異文化について考えることができる。その中でも「言語」は、その国・地域の文化や風習と密接な関わりをもっている。この授業では、特に日本語、英語という言語を起点にし、日英の言語文化の共通点、相違点を比較検討しながら異文化について理解を深めることをねらいとしている。		
授業到達目標/Course goals	アクティブラーニングを取り入れた授業方法を取り、以下の4点を到達目標とする。 1) 学生自身が、自主的に学習目標を立ち上げ探究する力をつける。??? 2) 適切な学習計画を実行し、仲間と議論、熟考すること通し多様性を理解する能力を身につける。??? 3) 学習成果を相互的に評価し、相互啓発志向を高めることを目標とする。?? 4) 以上の3点を通して相互の信頼、尊敬及び扶助、表現の自由、他者の意見の受容を獲得する。??? 5) 長崎県内の課題を整理して問題点とその解決案を発表できる。?		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業態度(グループディスカッションでの積極的発言等) 40% レポート 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として課題及び授業トピックについての下調べ2時間、事後学習として関連文献等のチェック2時間		
キーワード / Keywords	異文化理解、語、文化、共生思想、長崎		
教科書・教材・参考書 / Materials	特定の教科書は採用しない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	各人が 1) プレゼンテーションをする 2) ディベートに参加する 3) レポートを書く 4) 授業外学習に週平均2時間程度を充てること、参考資料をきちんと読むこと。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立遠達館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校 限上 麻衣 / アメリカの日本人学校 (補習校) での勤務経験 / 海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。 / ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業の概要の説明
第2回	担当教員: 廣江 異文化理解の諸問題 1 1) 「異文化論」の始まり いつ頃から「異文化」という用語が使われ出したのか。その起源を辿りながら、異文化理解に必要な普遍的視点といふべき視座を探る試みを行う。 2) ステレオタイプ論の氾濫? 人種・マスメディア? 日常に溢れるステレオタイプの捉え方の具体例を、グループで可能な限り出し合い、そのイメージがどうやって作られ浸透してきたのかを分析し議論する。
第3回	担当教員: 限上 第二言語習得 1 「英語習得の何が難しいのか? < 1 >」 1) 第二言語習得研究概論: 第二言語としての英語習得研究の目的と歴史を概観する。 2) 長崎における英語習得: 長崎における英語学習環境をもとに、日本人による英語習得に関して何が難しいのか、理想的な学習環境とはいかなるものかなどディスカッションする。
第4回	担当教員: 限上 第二言語習得 2 「英語習得の何が難しいのか? < 2 >」 1) 第二言語習得研究概論: 代表的な第二言語習得モデルを概観し、自身の外国語学習経験と照らし合わせ、それぞれのモデルに関する理解を深める。 2) グループごとにミニ調査を行い、得られた結果を用いてそれぞれのモデルの妥当性の検証を行う。
第5回	担当教員: 限上 第二言語習得 3 「日本にいれば日本語がうまくなるのか? < 1 >」 1) 第二言語としての日本語習得: 注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。 2) 日本語習得 (1): アメリカでの日本語教育に関して、大学での授業や、日本人学校の取り組みを紹介する。
第6回	担当教員: 限上 第二言語習得 4 「日本にいれば日本語がうまくなるのか? < 2 >」 1) 第二言語としての日本語習得: 注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。 2) 日本語習得 (2): 長崎での日本語習得の機会 (大学の授業、地域の日本語講座など) について調べ、海外 (例: アメリカ) との違いを理解する。
第7回	担当教員: 限上 第二言語習得 5 「多言語で生活するとは? < 1 >」 1) バイリンガリズム: ニューヨークの子どもの例をもとに、一言語環境と多言語環境の違いを理解する。 2) 長崎におけるバイリンガル環境: 留学生の例など長崎における多言語環境をいくつか紹介し、多言語を使いこなすことの利点や異文化における言語能力の重要性についてディスカッションする。

第8回	<p>担当教員：隈上 第二言語習得6「多言語で生活するとは？&lt; 2 &gt;」</p> <p>1) 多言語共生：これまでの授業で学んだ第二言語習得における問題（習得障害要因）を整理し、日本における理想的な多言語環境のあり方について議論を行う。</p> <p>2) 議論でまとめた内容をグループごとに発表する。</p>
第9回	<p>担当教員：廣江</p> <p>3) 反ステレオタイプ論 異文化理解の諸問題 1 Lippmann(1987)等を参考にしながらステレオタイプ論の検証を行い、固定化した観念やイメージをそれが発生した歴史的場面から問い直し、ステレオタイプを相対化する試みを行う。</p>
第10回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解の諸問題2 1) グローバル化に伴う日本的諸問題 日本人の「国際感覚」、「概念的理解」、「共感」、「コミュニケーション・バッファー」といった用語をキーワードとして、グローバル化に伴う一般的日本人にありがちな陥穽について議論する。</p>
第11回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解の諸問題2 2) 異文化理解における「共感」の位置付け Rogers(1984)やDamen(1987)を参考にしながら、異文化理解における「共感」を発展的に捉える試みを行う。</p>
第12回	<p>異文化理解2 3) 異文化間における文化的配慮とその意義 異文化間における解釈等の違いから生じる摩擦を回避する智恵としてのバッファーを、具体的事例にあたりながら、考察する契機としたい。</p>
第13回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解を超えて 3) Lost in Translationの視聴</p>
第14回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解を超えて 4) Lost in Translation視聴 2) Lost in Translation視聴後、グループ・ディスカッションを行い、発表を行う。</p>
第15回	<p>担当教員：廣江</p> <p>長崎県の異文化事情 まとめ</p>